

週刊 ヤマケイ



2018/08/09



那須連山・那須岳

那須連山の展望を満喫できる快適な尾根



赤く染まり始める茶臼岳(写真＝小瀬村 茂)



三本槍岳へ続く稜線(右上先端部が熊見曾根の分岐)(写真=小瀬村 茂)

7月31日、快晴

連日の猛暑からいつときの涼を求め、東北方面の山々を訪ねることにしました。

その最初が東北手前の栃木県にある那須岳です。那須岳は茶臼岳とも呼ばれますが、茶臼岳に加えてそれに連なる朝日岳と三本槍岳の3山を総称した山名でもあるようです。

茶臼岳へはロープウェイで行けますが、茶臼岳は外して朝日岳と三本槍岳を目指しました。ロープウェイ山麓駅からさらに上へ車を進めると車道終点となり、無料の「峠の茶屋駐車場」があります。そこから朝日岳への登山はおよそ1時間30分ほどの行程です。

途中、朝日岳山頂直下に険しい岩場がありますが、よく整備された鎖場となっているので初心者でも安全に通過できます。雨の時などはとても滑りやすくなるので注意が必要です。

朝日岳の標高は1896m、狭い岩場の山頂ですが、ここからの眺望は格別です。活火山の荒々しい茶臼岳と緑深い峰が連なる三本槍岳へのたおやかな稜線、この正反対の山容の対比が那須岳ならではの景観です。

夜明け前の山頂を目指して登ってきたのでご来光にも間に合いました。目の前に広がる雲海、のぼる朝日がまぶしく、正面に迫って見える茶臼岳が次第に赤く染まっていきます。

朝日岳で日の出の時を過ごしたあと、三本槍岳へ向かいます。少し行った先に熊見曾根の分岐があり、この付近も那須連山の展望を満喫できる快適な尾根道です。左に道をとれば隠居倉を経由して三斗小屋

温泉へ、右に行けば三本槍岳へ向かう稜線の登山道が続きます。三本槍岳までは清水平の湿原を経て1時間少しの距離です。

(文=小瀬村茂／山岳写真工房)

参考書籍

分県登山ガイド『栃木県の山』

<https://www.yamakei.co.jp/products/2815020380.html> (紙版)

<https://www.yamakei.co.jp/products/2818120408.html> (電子書籍版)